

一般社団法人日本医療薬学会  
2019年度第6回定例理事会 議事録

一．開催日時： 2019年12月25日（水） 13時00分～17時30分

二．開催場所： 日本医療薬学会会議室

三．出席者

会 頭： 奥田 真弘

副会頭： 山田 安彦、山本 康次郎、千堂 年昭

理 事： 青山 隆夫、井関 健、伊藤 清美、川上 純一、河原 昌美、  
崔 吉道、武田 泰生、寺田 智祐、峯村 純子、宮崎 長一郎、  
望月 真弓、山田 清文

監 事： 大森 栄、安原 真人

陪席者

顧 問： 木平 健治、佐々木 均、

事務局： 星 隆弘、姫嶋 直子

欠席者

理 事： 出石 啓治、大谷 壽一、吉光寺敏泰、佐藤 淳子

監 事： 山元 俊憲

顧 問： 五十嵐 邦彦、山本 信夫、和田 一夫

四．議長： 奥田 真弘

五．会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 16名の出席があり、定款第38条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

六．議事の経過の概要及びその結果

1. 2019年度第5回定例理事会議事録の確認

議長より、本年10月3日に開催された2019年度第5回定例理事会議事録を基に議事内容が確認され、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。続いて、前回理事会から昨日までに開催された各委員会等の会務状況が報告された。

2. 第11回臨時社員総会議事録の確認

議長より、本年11月3日に開催された第11回臨時社員総会議事録を基に、議事内容の確認が行われ、修正等がある場合には本理事会終了時までに指摘するよう要請があった。

3. 協議事項

#### (1) 各認定制度の見直しに係る検討

寺田理事より、専門薬剤師制度運営委員会からの報告及び協議事項に係る説明として、臨時社員総会以降に議論を進めた事項として、2020年度における各制度の専門薬剤師に係る申請スケジュール案、認定制度規程及び細則、Q&A、連携研修に係る基幹研修施設への研修者受入に係るアンケート調査の概要、地域薬学ケア専門薬剤師制度の運用、連携研修に係る研修費の取扱い、新たな専門薬剤師制度に係る説明会の企画などに関する説明があった。また、がん及び薬物療法の各専門薬剤師制度においては、要件の変更による症例数の減免、論文又は発表に関する要件が撤廃されるなど更新要件が緩和されるが、それを受けて過去に更新できずに認定資格が失効した者を対象に、今回変更される更新要件をクリアできるか否かに係る調査を実施し、その結果を基に新たな更新要件での申請を受け付けることを認めることができないかという意見聴取があった。協議した結果、各案は概ね了承され、今後、細部の調整を進めた上で、各認定制度規程及び細則、Q&Aを公表することや連携研修に係る基幹研修施設への研修者受入に係るアンケート調査等を実施することが了承された。

#### (2) 役員候補者選挙結果報告と役員候補者推薦委員会の編成

千堂副会頭より、2020-2021年度役員候補者選挙の当選者の決定に係る選挙管理委員会からの開票結果及び当選者決定の報告があった。理事候補者選挙の結果として病院所属区分では7名が選任、大学所属区分では3名が信任、薬局所属区分では2名が信任されたこと、また監事候補者選挙の結果として2名が信任されたこと、さらに投票者数、投票率、有効投票数、有効得票数及び白票数が報告された。

続いて、奥田会頭より、役員候補者推薦委員会の編成について、奥田会頭、山田・山本両副会頭、出石理事、佐々木顧問の5名をもって編成する提案があり、協議した結果、了承された。

#### (3) 創立30周年記念事業に係る検討

山田副会頭より、2020年9月19日（土）に開催予定の創立30周年の記念事業に係る対応として、記念シンポジウムと祝賀会をもって構成すること、記念シンポジウムでは歴代会頭から4名の先生、現会頭、次世代を担う者として3名を専任し、全8名でシンポジストを実施すること。また、当該メンバーによるパネルディスカッションを開催すること、祝賀会の参加費等に係ること、本事業のテーマを「日本医療薬学会の軌跡と未来」とし、記念小冊子の編纂を手がけることなどの方針が説明された。協議した結果、本件は了承された。

#### (4) 第34回年会長候補者の推薦（2024年度）

井関理事より、年会長候補者推薦委員会で議論した第34回年会長候補者（2024年度開催）に係る推薦候補者として2名の候補者が紹介された。今後、当該候補

者への説明と打診、内諾取得を進め、次回の理事会に推薦候補者が報告されることが説明された。

#### (5) 2019年度認定薬剤師制度の新規、更新の各認定審査結果

青山理事より、本年12月31日をもって認定期間が満了する認定薬剤師（指導薬剤師）及び研修施設の更新、今年度第2期目の研修施設の新規認定に係る認定薬剤師制度委員会での審議結果に係る説明があった。

##### 1) 認定薬剤師（指導薬剤師を含む）の更新認定

本年12月31日を以て認定期間が満了する認定薬剤師の更新対象者は264名であり、更新申請者が250名（うち指導薬剤師委嘱者は122名）、更新保留申請が1名、未申請者が13名であった。認定薬剤師制度委員会で審査した結果、250名の更新と1名の更新保留が認められると判定したことが説明された。協議した結果、認定薬剤師（指導薬剤師）の更新及び更新保留が了承された。

##### 2) 認定薬剤師制度研修施設の新規認定（2019年度第2期）及び更新認定

本年第2期となる研修施設の新規認定に16施設より申請があり、従前の判定基準に基づき認定薬剤師制度委員会で審査した結果、全16施設の認定が認められると判定したこと、また、本年12月31日を以て認定期間が満了する認定薬剤師制度の研修施設40施設中、指導薬剤師が在籍している32施設の更新が認められると判定したことが説明された。協議した結果、16施設の新規及び32施設の更新の認定が了承された。

なお、上記の新規又は更新に係る認定日は2020年1月1日、認定期間は2020年1月1日から5年間である。（指導薬剤師の委嘱更新も同一日・期間）

##### 3) 医療薬学専門薬剤師制度に係る研修ガイドライン、同コアカリキュラム、専門薬剤師認定試験出題基準、同試験の合否判定基準の策定

臨床実績が必要となった医療薬学専門薬剤師制度用の研修ガイドライン、同コアカリキュラムの両案の策定に係る主旨説明があった。同様に専門薬剤師認定試験用の出題基準を抜本的に作り替え、医療薬学専門薬剤師制度のみならず、薬物療法専門薬剤師制度及び地域薬学ケア専門薬剤師制度と共通化される専門薬剤師認定試験用の出題基準として整備したことなどが説明された。協議した結果、各案への意見が出されたため、次回の理事会に修正版を提示することとなった。

なお、地域薬学ケア専門薬剤師制度では、本学会の認定試験と同一問題・同一合否判定基準となっている生涯学習達成度確認試験の活用を踏まえた合否判定基準の考え方に係る説明があり、継続して検討を進めることとなった。

#### (6) 2019年度がん専門薬剤師認定制度の新規、更新の各認定審査結果等

河原理事より、2019年度のがん専門薬剤師及びがん指導薬剤師の新規認定申請、本年12月31日をもって認定期間が満了するがん専門薬剤師及び同研修施設の更新認定に係るがん専門薬剤師認定制度委員会での審議結果が説明された。

##### 1) がん専門薬剤師の新規認定

本年 11 月 17 日（土）に実施した 2019 年度がん専門薬剤師認定試験には、書面審査（受験資格審査）の合格者 79 名及びがん専門薬剤師認定制度規程細則第 2 条の 2 が適用された 8 名の再受験者を合わせた全 87 名が受験した。がん専門薬剤師試験小委員会及びがん専門薬剤師認定制度委員会において合否判定をした結果、78 名を合格と判定し、がん専門薬剤師として認定できると判定したこと、また不合格と判定された 9 名のうち 7 名はがん専門薬剤師認定制度規程細則第 2 条の 2 が適用され、次年度の本認定申請の際には、書面審査が免除となってがん専門薬剤師認定試験を受験できることが説明された。協議した結果、了承された。

#### 2) がん指導薬剤師の新規認定

がん指導薬剤師の新規認定には 21 名より申請があり、がん専門薬剤師認定制度委員会において審査した結果、全ての申請者ががん指導薬剤師の認定要件を充足していると判定したことが説明された。協議した結果、21 名をがん指導薬剤師として認定することが了承された。

#### 3) がん専門薬剤師の更新申請

本年 12 月 31 日を以て認定期間が満了するがん専門薬剤師の更新の対象者 152 名中、更新申請者 123 名と保留申請者が 6 名、未更新者が 23 名であった。がん専門薬剤師認定制度委員会において審査した結果、109 名が更新が認められると判定し、6 名が症例サマリの再審査を実施した上で更新の可否を判断すること、また 4 名の更新保留が認められると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

#### 4) がん指導薬剤師の更新申請

本年 12 月 31 日を以て認定期間が満了するがん専門薬剤師の更新の対象者 179 名中、更新申請者 130 名と保留申請者が 10 名、未更新者が 39 名であった。がん専門薬剤師認定制度委員会において審査した結果、127 名の更新と 7 名の更新保留が認められると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

#### 5) がん専門薬剤師研修施設の更新

本年 12 月 31 日を以て認定期間が満了するがん専門薬剤師研修施設の更新対象施設 219 施設中 194 施設から更新申請があった。がん専門薬剤師認定制度委員会では審議した結果、全 194 施設の更新が認められると判定したことが説明された。協議した結果、当該更新が了承された。

なお、上記の新規又は更新に係る認定日は 2020 年 1 月 1 日、認定期間は 2020 年 1 月 1 日から 5 年間である。

#### (7) 2019 年度薬物療法専門薬剤師制度の新規、更新の各認定審査結果

望月理事より、2019 年度の薬物療法専門薬剤師の新規認定申請、本年 12 月 31 日をもって認定期間が満了する薬物療法専門薬剤師、同指導薬剤師及び同研修施設の更新認定に係る薬物療法専門薬剤師認定制度委員会での審議結果に係る説明があった。

#### 1) 薬物療法専門薬剤師の新規認定

今年度は第1期申請（認定試験の要受験者）には2名、第2期申請（認定試験に合格している認定薬剤師）には7名の計9名から申請があった。前者の2名は今年度の認定試験を受験し、両名共に合格した。各申請者より提出された申請書類に基づき審査を実施した結果、6名が薬物療法専門薬剤師の認定要件を満たしていると判定したことが説明された。また、今年度の認定試験に合格した2名は認定薬剤師の認定要件を満たしていること及び両名の希望を受け、当該2名を認定薬剤師として認定することが説明された。協議した結果、了承された。

#### 2) 薬物療法専門薬剤師の更新認定

本年12月31日を以て認定期間が満了する薬物療法専門薬剤師の更新の対象者5名中、更新申請者なし、保留申請者が1名であった。薬物療法専門薬剤師認定制度委員会において審査した結果、1名の更新保留が認められると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

#### 3) 薬物療法指導薬剤師の更新認定

本年12月31日を以て認定期間が満了する薬物療法指導薬剤師の更新対象者6名中、更新申請者は全6名であった。薬物療法専門薬剤師認定制度委員会において審査した結果、6名全員の更新が認められると判定したことが説明された。協議した結果、了承された。

#### 4) 薬物療法専門薬剤師研修施設の更新

本年12月31日を以て認定期間が満了する薬物療法専門薬剤師研修施設の更新対象施設13施設中、12施設から更新申請があった。薬物療法専門薬剤師認定制度委員会で審議した結果、全12施設の更新が認められると判定したことが説明された。協議した結果、当該更新が了承された。

なお、上記の新規又は更新に係る認定日は2020年1月1日、認定期間は2020年1月1日から5年間である。

#### (8) 医療薬学編集委員会委員の追加委嘱

武田理事より、医療薬学誌の編集委員の負担軽減を講ずるため、新たに6名の委員を追加委嘱したい主旨の説明があった。協議した結果了承された。2020年1月より神村英利氏、北村佳久氏、寺菌英之氏、山口浩明氏、吉村知哲氏、釜田信氏を医療薬学編集委員として委嘱する。

#### (9) 日本学術会議会員・連携会員の候補者の情報提供依頼への対応

奥田会頭より、日本学術会議より協力学術研究団体に対して、同会議の会員・連携会員としての適任者の推薦依頼を受けたことが説明された。本学会としての対応を協議した結果、本件については、奥田会頭、同会議の現職の会員である望月理事、同じく連携会員である安原監事が協議して対応することとなった。当該結果については、次回の記事会に報告することとなった。

(10) 第 12 回日本がん薬剤学会学術大会・セミナー共催依頼への対応

奥田会頭より、日本がん薬剤学会より、2020 年 5 月 16 日に開催予定の第 12 回日本がん薬剤学会学術大会において、本学会との共催により「がん薬物療法認定申請のための薬学的介入の実際と症例サマリの書き方」と題するセミナーの開催に係る依頼を受けたことが説明された。協議した結果、本学会の 5 名のがん専門薬剤師が当該セミナーの講師となる形をもっての協力となるため、承諾することとなった。

(11) 会費の遡及納入に係る嘆願(5 件)

山田副会頭より、前年度会費の遡及の嘆願 5 件についての説明があり、協議した結果、本嘆願を了承することとなった。

(12) 薬剤師研修センターからの本学会年会参加者名簿の保管状況に係る聞き取り調査への対応

奥田会頭より、日本薬剤師研修センターから本学会年会の参加者名簿の保管、その形態（紙、電子データなど）、同センターへの提供諾否の聞き取りを受けたことが説明された。本件については、年会毎に参加者名簿の作成・保管をしておらず、そのような主旨で回答することとした。

(13) 事務室賃料の改定申入れへの対応

奥田会頭より、本学会事務所の賃貸契約の更新に伴う賃料の改訂（値上げ）要請があったことが説明された。協議した結果、本件については日本病院薬剤師会の対応などを参考に対処することとした。

(14) その他

奥田会頭より、2014 年に発行した医療薬学用語集（じほう社）の内容をブラッシュアップし、本学会のホームページで公表することを検討したいという主旨の提案があり、協議した結果、了承された。本件については、出版契約を確認するとともに出版元であるじほう社の意向を確認することとなった。

### 3. 報告事項

(1) 第 29 回年会（福岡）実施報告

武田年会長より、メインテーマを「新しい時代を担う医療薬学のこれから ～薬学の英知の結集～」と題して福岡国際会議場を主会場に、本年 11 月 2 日～4 日の 3 日間にわたり開催した第 29 回年会の実施状況として、一般参加者数 8,209 名（招待者を含めると 8,408 名）、特別講演 7 題、シンポジウム 66 セッション、一般演題 1,632 題（口頭：360 題、ポスター：1,272 題）、国際シンポジウム 9 題、国際セッション 29 題（口頭：6 題、ポスター 23 題）など、盛会裡に終了したことが報告された。

(2) 第 30 回年会におけるシンポジウムへの演題登録

井関理事より、第 30 回年会のシンポジウムに 5 つの委員会から、またワークショップに 1 つの委員会から登録があったことが報告された。

### (3) 研修会等実施報告

#### 1) 第 7 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会開催報告

河原理事より、本年 10 月 5 日（土）にウイנק愛知（名古屋市）で開催された第 7 回がん専門薬剤師アドバンスト研修会に係る開催状況が報告された。

#### 2) 第 74、75、76 回医療薬学公開シンポジウム開催報告

井関理事より、第 74、75、76 回医療薬学公開シンポジウムの開催状況が報告された。

- ・第 74 回 開催都市：奈良市、実行委員長：池田和之 氏（9 月 29 日開催）  
テーマ「チーム医療を支える薬剤師 ～多職種連携における認定と薬剤師の役割～」
- ・第 75 回 開催都市：青森市、実行委員長：新岡丈典 氏（10 月 20 日開催）  
テーマ「適正な臨床研究推進のために必要な知識と技術」
- ・第 76 回 開催都市：大分市、実行委員長：伊東弘樹 氏（11 月 24 日開催）  
テーマ「医療における理想的な地域連携の実践」

### (4) 講習会・セミナー開催計画

- ・2020 年がん専門薬剤師集中教育講座（東京 2）

河原理事より、2020 年 2 月 15～16 日に開催予定の 2020 年がん専門薬剤師集中教育講座（東京 2）のプログラムを基に、本講座の開催概要が報告された。

### (5) 後援申請（4 件）

議長より、次の 4 件の後援申請を受け、承諾した旨の報告があった。

- ・「PLCM 研究会第 14 回シンポジウム」
- ・「第 4 回日本老年薬学会学術大会」
- ・「第 23 回医薬品情報学会学術大会」
- ・「第 12 回日本がん薬剤学会学術大会」

### (6) 委員会報告

各委員会の議事録を基に、各委員長より議事概要が報告された。

第 3 回がん専門薬剤師研修小委員会、第 2 回薬物療法専門薬剤師研修小委員会、2019 年度がん専門薬剤師集中教育講座に係る合同協議、第 2 回がん専門薬剤師能力向上小委員会、第 1 回出版委員会。

以上をもって全ての議事の審議及び報告を終了したので、議長は 17 時 30 分に閉会を宣言し、解散した。